

# <スイートインストーラーでMSIとパッチをまとめて配布する>

注) このドキュメントは、*InstallShield 2015 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2015* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合があります。

## 概要

スイート/ アドバンスド UI プロジェクトで、MSI パッケージとパッチをまとめて配布する方法について紹介します。

スイートインストーラーでのパッチの配信には、いくつかの注意点があります。

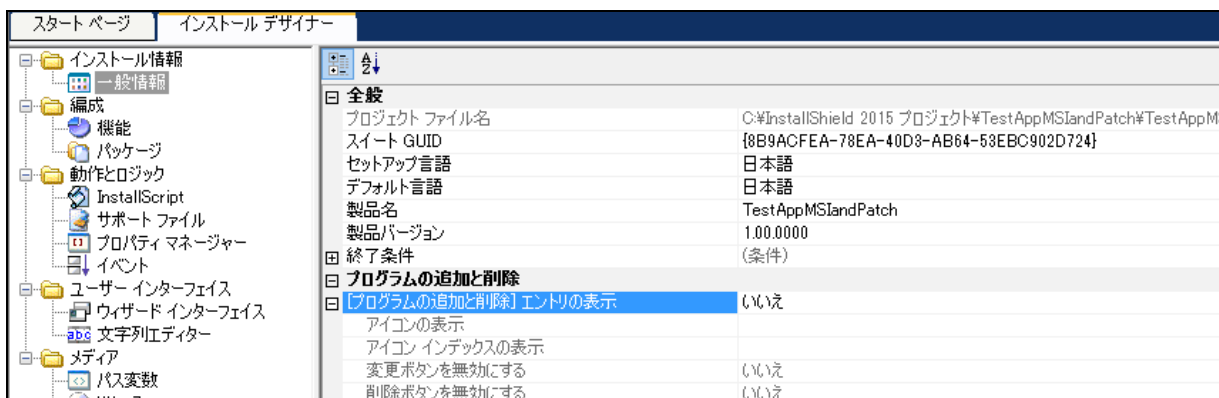
- .msp パッケージは、そのターゲットとなる .msi が存在してはならないため、ターゲットシステムでアップグレードする製品の存在有無をチェックする必要がある
- スイートインストーラーでは、パッチ (.msp) のアンインストールはサポートされていない。 .msp を削除するには、ベースの .msi パッケージを削除する必要がある

このドキュメントでは、基本的なスイートプロジェクトの作成方法について紹介します。今回は、TestAppProduct (テストアプリケーション) の以下のバージョンを同時にインストールする設定を行います。

- TestAppProduct Ver.1.00.0000 …MSI 形式インストーラー (フルメディア)
- TestAppProduct Ver.1.10.0000 …MSP 形式インストーラー (パッチ)

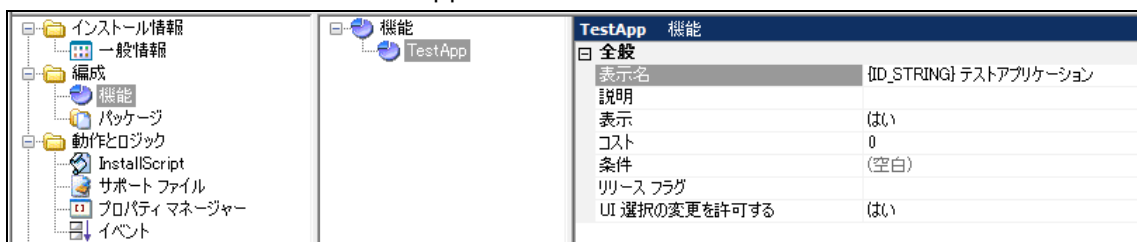
## A. スイートプロジェクトの作成と機能の追加

1. [ファイル] - [新規作成] を選択し、[共通] タブにて「スイート/アドバンスド UI プロジェクト」を選択して、新規プロジェクトを作成します。プロジェクト名は「TestAppMSIandPatch」として保存します
2. [インストール情報] - [一般情報] の [全般] タブで基本的な設定を行い、「[プログラムの追加と削除] エントリの表示」を [いいえ] に設定します



パッチパッケージを含んでいる場合、スイートインストーラーの [変更] [修復] は動作しないため、スイートインストーラーの製品エントリは作成しないようにします。

3. 機能を作成し、機能の内部名は「TestApp」、[表示名] は「テストアプリケーション」とします

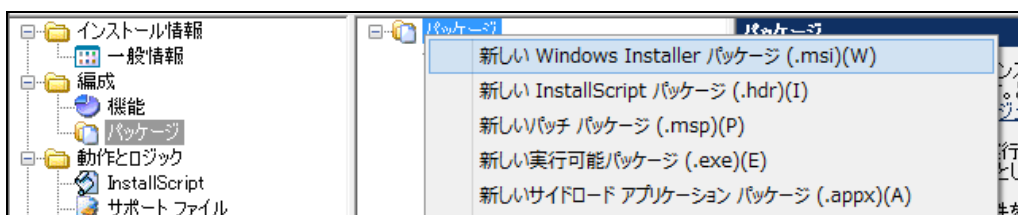


## B. MSI パッケージの追加

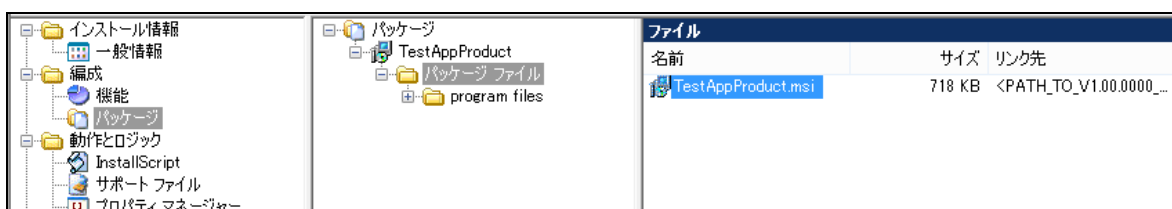
スイート/アドバンスト UI プロジェクトに製品パッケージ (.msi) を追加します。

追加する.msi は TestAppProduct の Ver. 1.00.0000 の.msi パッケージです。

4. [編成] - [パッケージ] ビューを選択します。[パッケージ] を右クリックして [新しい Windows Installer パッケージ (.msi)] を選択し、TestAppProduct の.msi ファイルを指定します



[このパッケージのファイルを追加する] ダイアログで、適切なオプションを選択します

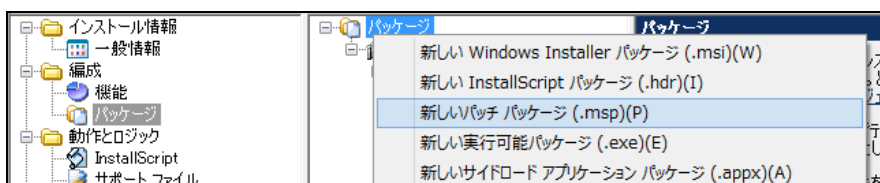


## C. MSP パッケージの追加

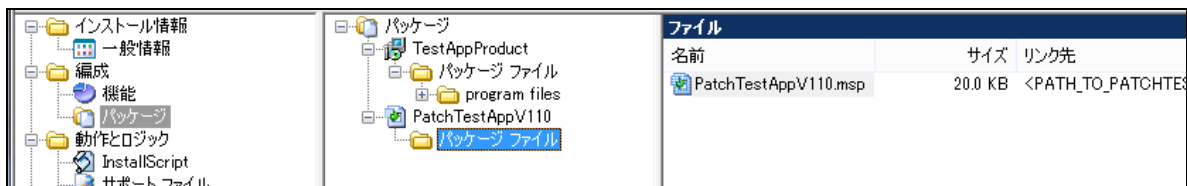
続いて、.msp パッケージを追加します。

追加する.msi は TestAppProduct の Ver. 1.1.0.0 の.msp パッケージです。

5. [パッケージ] を右クリックして [新しいパッチパッケージ (.msp)] を選択し、TestAppProduct の Ver 1.10.0000 の.msp ファイルを指定します




【このパッケージのファイルを追加する】ダイアログでは、【何も追加しない】オプションを選択します



6. 【共通】タブ - 【操作】の【インストール】を展開し、【MSP コマンドライン】で、以下のコマンドラインを入力します  
MSP コマンドライン： REINSTALLMODE=vomus REINSTALL=ALL

|                   |                                   |
|-------------------|-----------------------------------|
| 操作                |                                   |
| インストール            | はい                                |
| ターゲット             | PatchTestAppV110.msp              |
| MSP コマンドライン       | REINSTALLMODE=vomus REINSTALL=ALL |
| MSP サイレント コマンドライン |                                   |
| 再起動の要求            | コンピューターの再起動を許可する                  |

7. .msp パッケージは、パッチを適用するターゲットとなる .msi が存在してはならないため、ターゲットにアップデートする製品が存在するかチェックを行う必要があります

追加したパッチパッケージの【共通】タブで【対象条件】を追加します。【対象条件】の右側  ボタンをクリックして、条件グループが追加されたら、【条件グループ】に「Any」を指定します

|          |      |
|----------|------|
| 検出条件     | (条件) |
| Any      |      |
| 対象条件     | All  |
| リリース フラグ | Any  |
| 操作       | None |

8. 条件グループの右側  ボタンをクリックして、【条件チェックの種類】で【有効なパッケージ】を選択します

|             |        |  |
|-------------|--------|--|
| 対象条件        | (条件)   |  |
| Any         |        |  |
| Windows の機能 | 0 定義済み |  |
| リリース フラグ    |        |  |
| 操作          |        |  |
| インストール      | はい     |  |
| イベント        |        |  |
| 構成するパッケージ   | (空白)   |  |
| 構成済みのパッケージ  | (空白)   |  |
| Any         |        | <ul style="list-style-type: none"> <li>All</li> <li>Any</li> <li>None</li> <li>プラットフォーム</li> <li>ファイルの存在</li> <li>ファイルの比較</li> <li>レジストリの存在</li> <li>レジストリの比較</li> <li>プロパティの比較</li> <li>MSI パッケージ</li> <li>MSI アップグレード</li> <li><b>有効なパッケージ</b></li> <li>InstallScript パッケージ</li> </ul> |

9. 追加された【パッケージ GUID】の設定で、プルダウンから MSI パッケージ (TestAppProduct) を選択します

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 対象条件        | (条件)             |
| Any         |                  |
| 有効なパッケージ    |                  |
| パッケージ GUID  |                  |
| Windows の機能 | TestAppProduct   |
| リリース フラグ    | PatchTestAppV110 |

自動的に、TestAppProduct の製品 GUID が追加されます

|            |   |
|------------|---|
| 対象条件       | (条件)                                      |
| Any        |   |
| 有効なパッケージ   | Id {9400A1A6-64EA-4A6E-BCD4-E5E9650FC565} |
| パッケージ GUID | TestAppProduct                            |

## D. ユーザーインターフェイスの編集

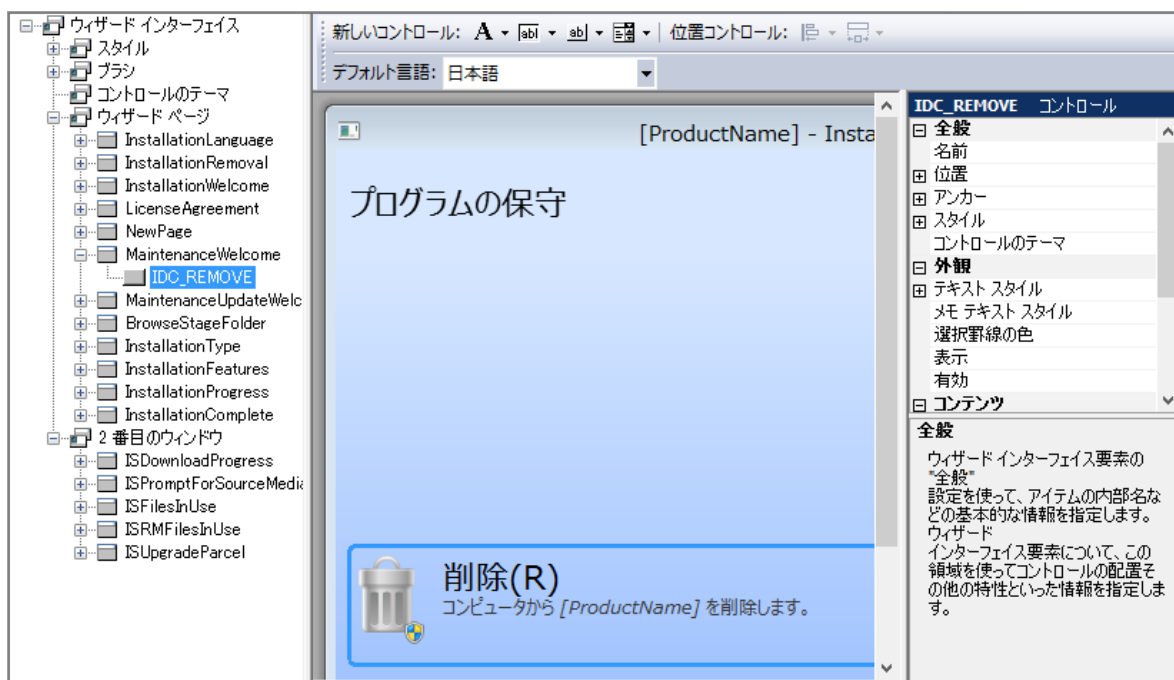
スイートインストーラーは、「変更」「修復」をサポートしていないため、メンテナンス画面が表示されたときに、「削除」のみが選択できるようにユーザーインターフェイスを編集します。

10. [ユーザー インターフェイス] - [ウィザード インターフェイス] ビューを表示します

11. [ウィザード インターフェイス] を展開し、[ウィザード ページ] - [MaintenanceWelcome] を選択します

12. 中央の編集画面で、「変更」のコントロール (IDC\_MODIFY) をクリックし、delete キーで削除します

13. 同様に、「修復」のコントロール (IDC\_REPAIR) をクリックし、delete キーで削除します



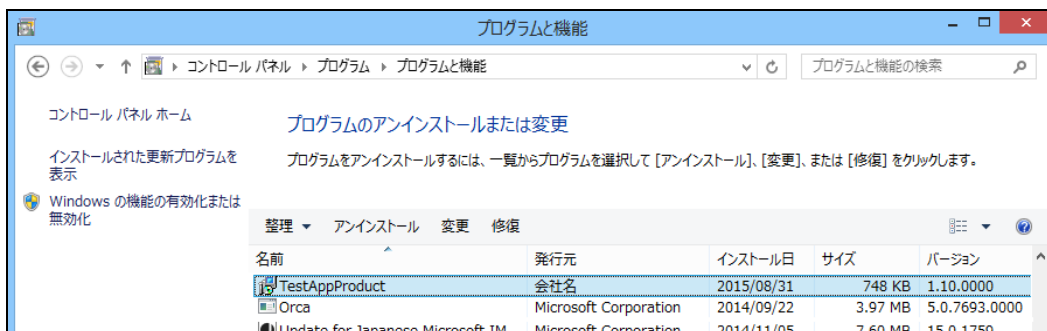
## E. ビルドと実行

メディアをビルドして、スイートインストーラーを実行します

14. [メディア] - [リリース] ビューで、リリースアイコンを右クリックして新規リリースを作成し、ビルドを実行します

15. 生成されたリリースでインストールを実行します

MSI と MSP がインストールされて、Ver. 1.10.0000 となっていることが確認できます



更新プログラムとしてパッチもインストールされていることが確認できます



また、setup.exe をダブルクリックした際に表示されるメンテナンス画面では、「削除」のみが選択できるようになっています。



以上